

適切な データストレージパートナーを 確実に選択する方法



データストレージを 選ぶ際のチェックリスト

ストレージの現在のニーズに対応しつつ、
将来的なニーズにも備えるのは容易ではありません。
基本的な機能以外にも、考慮すべきことが
たくさんあります。

- 1 データは動的です。データの管理や使用をサポートし、
促進するためのテクノロジーも動的でなくてはなりません。
- 2 パフォーマンスの高さは必須です。適応性についても
同じことが言えます。かつての「将来のニーズ」は、
すぐに現在のニーズになるからです。
- 3 現在のニーズに対して今行う投資は、
次のニーズにも対応できる必要があります。
その次のニーズにも、さらに次のニーズにもです。



データ量が年に50%増えるとなると、
6年後には現在の11倍の
ストレージ容量が必要になります。

ストレージ要件のチェックリスト

あまりにも条件が良すぎる契約を提示されたら、サインする前に、自社の要件がすべて満たされていることを確認しましょう。

クラウドへの対応機能が含まれている

- ハイブリッド環境を構築し、オンプレミスとクラウドとの間でデータをシームレスに移行できる
- データのタイプと使用状況に応じてストレージ環境を使い分け、効率化と最適化を実現できる
- テスト / 開発やバックアップ、ディザスタ リカバリに対するクラウドの利用がサポートされる

パフォーマンス要件の発展に対応している

- 将来的なビジネスの成長やアプリケーションのパフォーマンス向上に対応できる
- ストレージを余分に購入しておかなくても、ストレージが不足するという最悪の事態を避けられる
- 短期的に必要な容量のみを購入すれば、必要に応じてクラスタリングを行い、少しずつストレージを追加できる

ストレージの柔軟な拡張がサポートされる

- ストレージ要件の増大に対して適応性が高い
- 容量や種類の異なるメディアを多数組み合わせる構成を拡張できる
- 新たなコントローラや追加のストレージを購入することなく、パフォーマンスを最適化できる

ワークロードの統合をサポートする

- ブロック、ファイル、オブジェクトの各ストレージや、パフォーマンス重視、ミッション クリティカル、容量重視の環境のほか、オンプレミスとクラウド（ハイブリッド、パブリック、プライベート）など、各種ストレージ環境に対応する単一のプラットフォームまたはクラスタ ソリューションを提供する
- 複数のプラットフォームを別々に運用する手間とコストを抑え、各プラットフォームに専用の容量を割り当てることによる非効率性を解消できる

データの自動階層化が可能

- データ容量が拡大するのに伴って、アクセス頻度の低いデータの増加に対処できる
- アクセス数の少ないデータを、オンプレミスまたはクラウド内の低コストなメディアに自動でシームレスに移行し、コストを大幅に抑えられる

データ保護とコンプライアンスの厳格な要件を満たす

- スナップショット テクノロジを使用し、企業独自のコンプライアンス ポリシーを適用してデータの書き換えを防止できる
- 法令違反による法律問題や罰金の支払いのリスクを軽減できる

ネットアップ ソリューションは 前述のすべての要件を充足

これこそが、世界中の多くの企業でネットアップが信頼を得ている要因であり、最も重要なリソースの管理に当社ソリューションをおすすめする理由です。業界をリードするストレージのトップブランドをお探しなら、データの保管はネットアップにお任せください。

ファクト シートを参照 →



ネットアップについて

ジェネラリストが多い世界で、ネットアップはスペシャリストとしての存在感を示しています。お客様がデータを最大限に活用できるようにすることを1つの目標として、支援に全力を注いでいます。ネットアップは、信頼できるエンタープライズクラスのデータ サービスをクラウドにもたらし、またクラウドのシンプルな柔軟性をデータセンターにもたらします。業界をリードするネットアップのソリューションは、さまざまなお客様の環境や業界最大手のパブリック クラウドに対応します。

クラウド主導のData-Centricなソフトウェア企業であるネットアップは、お客様に最適なデータ ファブリックの構築をサポートし、クラウド対応をシンプルに実現し、必要なデータ、サービス、アプリケーションを適切なユーザにいつでも、どこからでもセキュアに提供できる唯一のベンダーです。詳細については、www.netapp.com/ja/をご覧ください。

